

持続可能な生産消費形態のあり方検討会資料

消費者庁 消費者教育推進課
企画官 米山真梨子

「エシカル消費」普及・啓発

- ・消費者の意識の変化 → 環境や被災地の復興、開発途上国の労働者の生活改善等の社会的課題に配慮した商品・サービスを選択して消費することへの関心の高まり
- ・公正かつ持続可能な社会の形成への参画 → 消費者教育の視野が消費者市民社会の形成へ拡大（「消費者教育の推進に関する法律」平成24年法律第61号）

「倫理的消費」調査研究会

人や社会・環境に配慮した消費行動である「倫理的消費（エシカル消費）」の内容やその必要性等について検討し、国民の理解を広め、日常生活での浸透を深めるためにどのような取組が必要なのかについて調査研究を行うため、平成27年5月から平成29年3月まで、「倫理的消費」調査研究会を開催。

研究会取りまとめ

～あなたの消費が世界の未来を変える～
平成29年4月「倫理的消費」調査研究会 取りまとめ

○倫理的消費（エシカル消費）とは「地域の活性化や雇用なども含む、人や環境に配慮した消費行動」（消費者基本計画）

消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりしながら消費活動を行うこと

配慮の対象とその具体例

人	障がい者支援につながる商品
社会	フェアトレード商品 寄付付きの商品
環境	エコ商品 リサイクル製品 資源保護等に関する認証がある商品
地球	地産地消 被災地産品
動物福祉、エシカルファッション	

- エシカル消費に取り組む必要性と意義
- ・持続可能性の観点から喫緊の社会的課題を含有
 - ・課題の解決には消費者一人一人の行動が不可欠
 - ・「安さ」や「便利さ」に隠れた社会的費用の意識が必要

- 推進方策の方向性
- ・国民による幅広い議論の喚起、意識の向上
 - ・事業者による消費者とのコミュニケーションの促進
 - ・様々な主体、分野の協働によるムーブメント作り

広く国民間での理解とその先の行動を期待

今後の方策

- 普及・啓発シンポジウム「エシカル・ラボ」の開催
- 先進的取組の収集・発信
- 地方における様々な主体や分野の協働によるムーブメントづくりの促進のほか、徳島県を実証フィールドとする「新未来創造プロジェクト」の活用や民間活力との連携等を通じ、国民へ理解と行動を働きかける

エシカル・ラボ

「エシカル・ラボ」は、「エシカル消費（倫理的消費）」の意味や必要性などについて、広く国民に考え方を普及するための情報提供を行うとともに、地方公共団体による主体的な普及・啓発活動の促進を目指すことを目的として平成27年から開催しているシンポジウム。

これまでに8回開催している。
令和元年度は、環境活動などを通じ持続可能な地域社会の構築に取り組む石川県、兵庫県、静岡県及び富山県で開催。県内におけるエシカル消費の取組を発見するとともに、その情報を発信することを目指して、県内の学生や事業者、生産者などの活動を紹介するプログラム構成としている。



消費者庁が実施している「エシカル消費」のイベント

こども霞が関見学デー

小・中学生を対象に、ワークショップ「世界を変える“スーパー”ヒーローになる方法～自分にも、世界にもいいお買い物の仕方を学ぼう！～」を開催



持続可能な開発目標(SDGs)の推進

「エシカル消費」は、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)のゴール12「つくる責任 使う責任」に関連する取組として推進している。



「エシカル消費」の普及に向けた取組

こども霞が関見学デー

小・中学生を対象に、ワークショップ「世界を変える“スーパー”ヒーローになる方法～自分にも、世界にもいいお買い物の仕方を学ぼう！～」を開催



様々なイベントで、「エシカル消費」につながる商品を展示



「エコプロ2018」出展



消費者庁主催のシンポジウム「エシカル・ラボ」を各地で開催

「エシカルクッキング」で地域の食材や捨てられてしまう食材を活用したレシピの実演・紹介
(令和元年8月開催 エシカル・ラボin石川)



落語家の立川平林氏による、「エシカル消費」について笑いを交えながら学ぶ「エシカル落語」
(平成30年9月開催 エシカル・ラボin秋田)



エシカルバトン引き継ぎセレモニー
(平成30年10月開催 エシカル・ラボin山口)



「エシカル消費」の普及に向けた活動に取り組む団体等と連携

エシカル協会主催「エシカルフェスタ」に長官が登壇



エシカル推進協議会主催「エシカル・サミット」で長官が講演



12月には
静岡で開催！